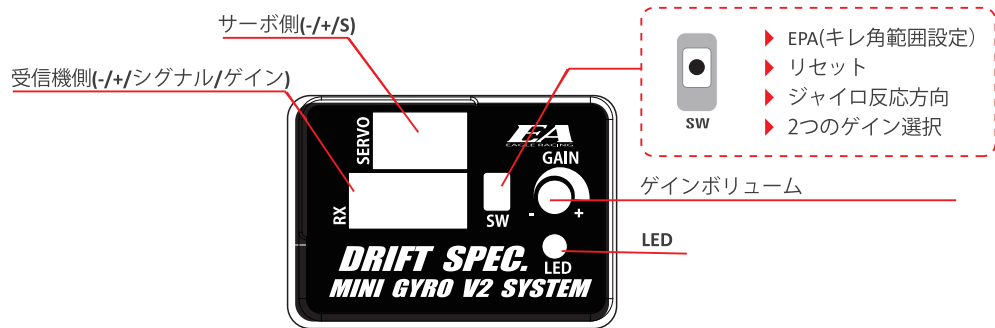


# MINI GYRO V2 USER MANUAL

## SPECIFICATION

- ▶ ケース材質 : AL6061
- ▶ 消費電力量 : 20mA/6V
- ▶ 重量 : 3.3g (ワイヤーを除く)
- ▶ 使用可能温度 : -10℃+50℃
- ▶ サイズ : 21\*15\*8.8mm
- ▶ コントローラー : PID システム
- ▶ 制御電圧 : 3.7 ~ 8.4V
- ▶ 入力シグナル : PWM (50-333Hz) / SANWA SHR; SSR / FUTABA S.BUS
- ▶ 2つのゲイン調整 : ノーマルと高感度モード
- ▶ 出力シグナル : 1520  $\mu$ s (50Hz/333Hz) / SANWA SSR
- ▶ 入出力コード : RXコネクタ

## 接続図



## LEDステータス

LED	ステータス	ゲイン調整方法
早い赤点滅	初期化	/
早い黄緑点滅	シグナルが無い状態	/
緑点灯	ノーマルモード	3チャンネル目で調整
遅い緑点滅	ノーマルモード	ゲインボリュームで調整
赤点灯	高感度モード	3チャンネル目で調整
遅い赤点滅3回	ノーマル/高感度モード設定	/
遅い黄緑点滅3回	正転、逆転設定	/
遅い黄緑点滅	キレ角範囲設定モード	/

## 押しボタンスイッチの説明

- ▶ **EPA (キレ角範囲設定)**  
押しボタンスイッチを押した状態で受信機電源を入れ、黄緑色LEDが低速で点滅し、EPAサーボキレ角範囲設定モードに入ります。送信機のステアリングを右に回して、サーボを必要な位置で停止させます。押しボタンスイッチを短く押すと、黄緑色のLEDが2回点滅した後、赤と黄緑色LEDが交互に点滅して、設定した右側キレ角が保存されます。

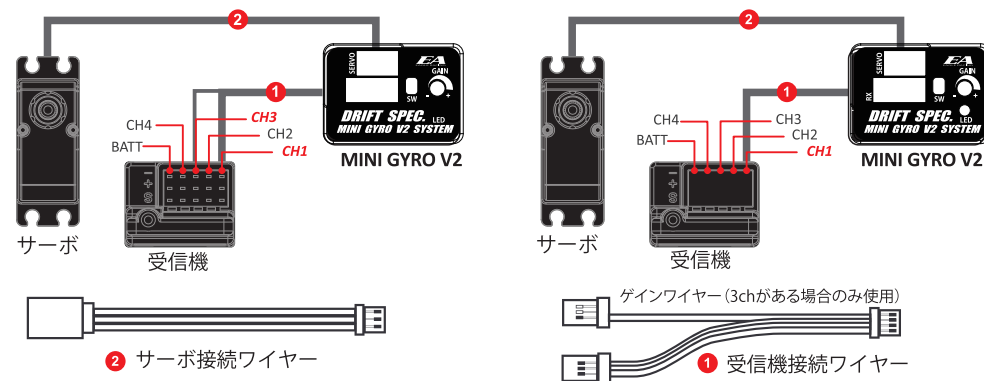
続けて、左方向のサーボキレ角範囲設定をします。送信機のステアリングを左に回して、サーボを必要な位置で停止させます。押しボタンスイッチを短く押すと、黄緑色と赤色のLEDが交互に2回点滅し、黄緑色のLEDが点灯した後、赤色のLEDが高速で点滅し設定した左側キレ角が保存されます。緑色のLEDが低速で点滅し、ジャイロを使用する準備が整います。

- ▶ **リセット (サーボキレ角範囲)**  
押しボタンスイッチを押した状態で電源を入れ、EPA(キレ角範囲設定)モードに入ります。押しボタンスイッチを3秒間長押しすると、赤色と緑色のLEDが交互に4回点滅し、赤色のLEDが点滅します。2秒後に初期化され、緑色のLEDが低速で点滅し、ジャイロを使用する準備が整います。
- ▶ **ジャイロ反応方向 (正転/逆転設定)**  
通常の動作状態で、押しボタンスイッチを約5秒間押し続けると、黄緑色のLEDが低速で3回点滅し、ゲイン反応方向が反転します。緑色のLEDが低速で点滅し、ジャイロを使用する準備が整います。戻したい場合はもう1度同じ作業を繰り返してください。
- ▶ **2つのゲイン選択**  
通常の動作状態で、押しボタンスイッチを素早く2回押して、赤色のLEDが3回低速で点滅すると、ノーマル/高感度モードが切り替わります。戻したい場合はもう1度同じ作業を繰り返してください。
- ▶ **デジタル/アナログ切替**  
このモード設定は自動的に識別されます。

## 受信機への接続 (入力信号モード)

- ▶ PWM (50-333Hz) は、ほとんどのリモートコントロールシステムに適しています。(トイラジ完成品は除く) 3チャンネルプロポを使用している場合、受信機の3チャンネル目に、ゲインワイヤーを差し込むことで、送信機の3チャンネルを利用してゲインの感度を調整できます。なお2チャンネルプロポを使用する場合は、ジャイロ本体のゲイン調整ボリュームで感度を調整することができます。
- ▶ FUTABA S. BUS制御システムに対応  
S. BUS 信号入力を使用する場合、ゲインワイヤーを使用せずに送信機側の3チャンネルで感度調整が可能です。
- ▶ SANWA SSR/ SANWA SHRに対応  
ジャイロは、SANWA 制御システムにも対応しており、SSR/ SHR 信号のレシーバーに接続すると、SSR/ SHR 信号のサーボを使うことができます。

**REMARK** SANWA SSR 受信機入力にはSSR専用サーボをお使いください。対応していないサーボを繋げると機器が故障します。



PIC 1

PIC 2

## ゲイン調整

- ▶ 3chプロポで本ジャイロを使用する場合は、ゲインワイヤーを受信機の3chに接続し、送信機の3chを介して感度を調整します。範囲は-100%~0~+100%で設定可能です。なお、S. BUS 信号入力を使用する場合、ゲインワイヤーを使用せずに送信機側の3チャンネルで感度調整が可能です。

**A** 0は感度ゼロを意味します

**B** -100%/+100%は最大感度です。

- ▶ 2chプロポで本ジャイロを使用する場合は、入力にゲインワイヤーは使用できません。ジャイロ本体のゲインボリュームを使用して感度調整を行います。

## NOTE

ジャイロは非常に小さいため、調整トリマやボタンスイッチも小型で繊細な部品です。無理な力を加えない様、付属のミニトリミングツールで設定操作を行ってください。